令和6年度岡崎市防災会議 会議録

1 開催日時

令和7年2月18日（火）午前10時30分～正午

2 開催場所

岡崎市役所東庁舎2階大会議室

3 出席委員（敬称略）

内田康宏 佐治幹夫 小柳和人（杣谷正樹代理） 島岡勝隆 尾関元康
吉田光宏（藤澤智史代理） 築瀬太 渡辺亘（本多裕治代理） 近藤聡 黒瀬元泰
塩谷武典 二村雅志（安藤直哉代理） 山崎武利 八木俊治 清水康則 山本公德
伊藤茂 近藤貴之（伊藤敏弘代理） 加藤秀章 内堀充敏 田中浩之 浅岡悦子
長坂秀志 荒木裕子 浅野幸子 米村篤史 浦野愛 新海幹代
石川康雄（森崎健吾代理） 成田昌彦 野田元陽（酒井英二代理） 加藤卓司

4 説明のために出席した職員

市民安全部長 豊田康介 土木建設部長 神谷秀樹
防災課長 小林也寸志 河川課長 杉田昌久
防災課防災企画係長 勝上徳哉 防災課防災対策係 熊谷教道
防災課防災企画係主事 柴田智隼 防災課防災企画係主事 花木美来
防災課防災企画係事務員 橋本遥夏

5 傍聴者

2名

6 会議次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 議題

岡崎市防災施策の取組

災害対応の見直し

指定緊急避難場所・指定避難所の指定について

岡崎市地域防災計画の修正の要旨

(4) その他

(5) 閉会

7 議事の要旨

開会のことば

<事務局>

予定の時刻となりましたので、ただ今から令和6年度岡崎市防災会議を開催させていただきます。委員の皆様にはお忙しい中、御出席を賜り誠にありがとうございます。

私は、本日の進行を務めさせていただきます、岡崎市市民安全部の豊田でございます。よろしくお願いいたします。

まず、本日の会議につきましては、御出席いただいた委員の数が岡崎市防災会議条例第8条第2項の定数を超過しており、会議の開催及び会議での議決が有効でありますことを報告いたします。

なお、出席者及び代理出席者の皆様につきましては、お手元の資料、出席者名簿の配布により報告に代えさせていただきます。欠席者につきましては、一般社団法人岡崎薬剤師会 高村（こうむら）委員、岡崎陸運協会 天野委員 でございます。なお、一般社団法人岡崎市医師会 内堀委員 につきましては、遅れて見えるということで伺っております。また、認定NPO法人レスキューストックヤード 浦野委員 には、オンラインで御出席いただいております。

それでは、本会議の会長である内田市長からごあいさつ申し上げます。

あいさつ

<会長>

皆様、こんにちは。市長の内田であります。本日は、御多用の中、岡崎市防災会議に御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆様方には、日頃より本市の防災力向上に、多大なるお力添えをいただき、厚く御礼申し上げます。

本年は、令和6年能登半島地震から1年、阪神淡路大震災から30年という節目の年であります。これらの未曾有の災害に改めて向き合い、その教訓を生かしながら、私たちの防災課題を着実に解決していく必要があります。

政府の地震調査委員会は、南海トラフ地震の今後30年以内の発生確率を、「70～80%」から「80%程度」に引き上げました。南海トラフ地震がいつ発生してもおかしくない現実を突きつけられており、この危機感を共有し、迅速かつ着実に防災対策を進める必要があります。

今後も皆様との連携を一層深め、防災・減災対策の強化に取り組んで参りますので、引き続き御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、委員の皆様におかれましては、活発な御意見をいただきますよう、お願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

<事務局>

ありがとうございました。議事に移る前に2点、御報告申し上げます。1点目ですが、本会議は、岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要綱の規定により、公開となります。なお、本日は傍聴希望者が2名おられます。入室について御了承ください。

2点目は、岡崎市国民保護計画の修正に関してでございます。岡崎市国民保護計画につきましては、統計の時点修正、表記の整理など変更点が軽微であり、それらの修正について本会議に諮る必要がない旨を愛知県に確認しておりますことから、本日の議題とはしておりませんので、よろしく申し上げます。

それでは、議事に移ります。本会議は、岡崎市防災会議条例第4条の規定により、会長が総理することになっておりますので、これより進行を内田市長にお願いいたします。

<会長>

それでは、議事に入ります。

本日の議題は、次第の4件です。各議題について、事務局から説明を行い、その後、皆様から御質問、御意見をいただく形で進行いたします。

議題1について、事務局の説明を求めます。

議題

<事務局>

議題1について「資料1」により説明

<会長>

ただ今の説明について御質問、御意見はございませんか。

御質問等無いようですので、議題1はこれで終了とし、次の議題に移ります。

続いて議題2、災害対応の見直しについて事務局の説明を求めます。

<事務局>

議題2について「資料2」により説明

<会長>

ただ今、事務局から説明のありました資料2-2の矢作川避難計画について、4人の方々に御意見をいただきたく存じます。

荒木委員、豊橋河川事務所 伊藤委員の代理で御出席いただいた近藤様、岡崎警察署 尾関委員、消防本部 山崎委員の順に御発言いただけますでしょうか。

まず荒木委員、お願いします。

<荒木委員>

皆様、お世話になります。京都府立大学の荒木です。当初の矢作川避難計画の御相談をいただいた時から、これが完成形ではなく、10年先を見据えて計画を随時見直していくこと、あるいは、できることを増やしていくことが重要だということをお話しさせていただきました。それに則り、状況の変化等にも合わせて「できること」にできるだけ近づけていっている状況だと思います。ただ、住民の方々にとっては、これまで「そこには避難してはいけません」と言われていた場所が「避難可能ですよ」となったり、あるいは「このタイミングで情報を出します」と言っていたことが変わったりということは、混乱が生じるのではないかと思います。変更点とその理由を丁寧に説明するのと併せて、実際にはどういった現象が起こりそうかということ、気象や洪水などの水害の現象自体と一緒に考えていただきながら御理解いただくといいのかなと考えております。

また、浸水している中でも上階避難を許容するという点について、3日間が1つの目途、とこの計画ではお考えですが、その期間で地域が綺麗になるわけではなく、非常に悲惨な状況が続きます。上下水が使えない、それから流出物があること、もちろん物資、医療、支援が届きづらいという状況もございますので、その環境改善をどう考えていくのか、その場の改善と、そこに留まっている方をどこに避難してもらうのか、それともそのまま在宅で避難継続が可能なのかというような状況を見極めないといけません。高齢者の方ですと、必要な医療や福祉が受けられる場所をというように状況を考えなければいけないと思います。なので、まずは早期の人命、避難に対する人命の部分を考えていращやると思いますが、その後の関連死含め、被災後の生活の中でどのように命が守られるかということは今後は併せて考えていかなければいけないと思っています。以上です。

<会長>

ありがとうございました。続きまして、豊橋河川事務所、近藤様お願いします。

<近藤様>

豊橋河川事務所岡崎出張所の近藤です。何点かお話しさせていただきます。

矢作川の安全確保をするために、豊橋河川事務所では治水整備を進めていますが、近年の異常気象により、災害がいつどこで起きてもおかしくない状況と考えております。

矢作川は指定河川洪水予報を出す河川となっております、この予報を気象庁と豊橋河川事務所が共同で出すことになっています。これにより、先ほどの事務局か

らの説明にありました、高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の判断を行う水防管理団体である岡崎市に対して情報を提供するという形になっています。

ただし、天気の前測精度や不確実性により、早期の自主的避難の段階で確度の高い情報を発出することが難しい場合もあると考えております。

地域の減災のためには、市民の方各自が、自分のこととして早期に避難の行動をとることが極めて重要であると考えております。ですので、豊橋河川事務所としましても、本日会議に御参加のような関係機関と連携して、今後とも取り組みを進めていきたいと考えております。以上です。

<会長>

ありがとうございました。続きまして、岡崎警察署、尾関委員お願いします。

<尾関委員>

岡崎警察署です。矢作川の氾濫という大規模災害に対し、警察としても強い危機感を持っておるところです。

岡崎警察署としましては、大規模災害が発生すれば、県警察の総力を挙げ、被災者の救出、救助を最優先に被害情報の収集、伝達、緊急交通路の確保、行方不明者の捜索、検視、身元不明者の確認、被災地域における治安の確保などにあたることとなっております。また、災害対策にあたっては、自治体や他の防災関係機関との連携が重要であり、警察独自の訓練に加え、自治体が主催する検討会議や防災訓練にも積極的に参加し、各種災害への対処能力の一層の向上に努めるとともに、発災時において、迅速に初動体制が作れるよう努めていきたいと考えております。

<会長>

ありがとうございました。続きまして、消防本部、山崎委員お願いします。

<山崎委員>

岡崎市消防本部の山崎と申します。消防としても災害時の迅速な対応はもちろん、災害発生前の事前対策に力を入れる必要があると考えておりました、消防もその一翼を担い取り組んで参りたいと考えております。

特に、地域の実情を熟知している消防団と密接に連携し、迅速かつ的確な避難支援や救助活動の準備を進めるとともに、住民の皆様が災害の危険を認識し、早めの避難行動がとれるような啓発活動を推進して参りたいと考えております。

また、防災訓練や情報共有の場を通じて、本日御参加の防災会議委員の皆様など関係機関や地域住民の方々とともに災害に備える取り組みを進めていきたいと考えております。

<会長>

ありがとうございました。それでは皆様、事務局からの説明、そして皆様方の御意見につきましての御質問等はございませんでしょうか。

浅野委員お願いします。

<浅野委員>

色々な御検討を詳細に詰めてこられた成果を感じましたが、矢作川避難計画に関して、私も東京で江東5区荒川大氾濫に関して2つの自治体で検討に関わる機会がありました。荒木委員も仰っていたように、もしも高い建物にとどまった場合、例えばマンションの5、6階など上階に住んでいるので大丈夫だろうと留まった場合でも健康上のリスクがあるわけですが、市民の方はそうした避難生活のリスクに関する認識が皆低いと感じました。特に、真夏でエアコンも効かないような状態で、1日、2日、3日と過ごしたら熱中症やエコノミークラス症候群など最悪死亡するかもしれないような、健康リスクがかなり高まる状況も考えられます。私も緊急的に致し方なく2・3日程度、浸水エリアの高所に留まる・避難するという事はあり得ると思っはいますが、そうした健康リスクも踏まえ、ミスリードにならないよう、やはり浸水区域外に出ることを基本にしつつ、皆様が住んでいる場所や自力避難が難しい家族がいるなどの事情に応じて、御自身の判断ができるようなわかりやすい情報提供を、しっかりしていく必要があると思いました。以上です。

<会長>

ありがとうございました。他に御質問等ございませんでしょうか。

それでは、御質問等は尽きたようですので、議題2はこれで終了とし、次の議題に移ります。

続いて議題3、指定緊急避難場所・指定避難所の指定について事務局の説明を求めます。

<事務局>

議題3について「資料3」により説明

<会長>

ただ今の事務局からの説明について御質問、御意見はございませんか。

それでは、御質問等無いようですので、議題3はこれで終了とし、次の議題に移ります。

続きまして議題4、地域防災計画の修正について事務局の説明を求めます。

<事務局>

議題4について「資料4」「資料5」により説明

<会長>

ただ今の事務局からの説明につきまして御質問、御意見等はございませんでしょうか。

御質問等はないようですので、議題4についてお諮りします。原案のとおりにすることに御異議はございませんか。

御異議は無いようですので、原案のとおり決定することとします。

それでは、本日の議題については以上となります。続いて次第4、その他でございますが、せっかくの機会ですので、この会議や岡崎市の取組、あるいは皆様方の活動などについて何かございませんか。

一般社団法人岡崎市医師会、内堀委員お願いします。

その他

<内堀委員>

岡崎市医師会の副会長の内堀でございます。遅れまして申し訳ございません。私どもの活動について御報告させていただきます。

本日の出席者の名簿を拝見しますと、防災の関係の方を中心にこの取り組みに参加していることと思いますが、我々、3師会の歯科医師会の先生も一緒に参加していただいている、本日は薬剤師会の先生は御臨席賜れなかった様子ですが、3師会が協力してどのようなことに取り組んでいるかといいますと、医療、救護だけではなく、福祉との連携、あるいは防災の皆様との連携体制をどのように充実させ、如何に地域医療を災害時につなげていくのかという地域医療BCP計画というものを推進して参りたいと考え協議を重ねているところでございます。

つきましては、3師会とともに、本日御参集の皆様のお力添えをいただきながら地域医療BCPを継続できるように御協力を今後、お願いさせていただくことになろうかと思っておりますので、この場をもって御報告させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

<会長>

ありがとうございました。他に御意見はございませんでしょうか。事務局からは何かございますか。

<事務局>

特にございません。

<会長>

本日は長時間にわたり、御協力をいただきありがとうございました。

今後とも、本市の防災行政につきまして、皆様から変わらぬ御指導、お力添えを賜りますようお願い申し上げます、議事を終了とさせていただきます。

会議の進行を事務局にお返しします。

閉会

<事務局>

皆様、本日はありがとうございました。

以上を持ちまして、令和6年度岡崎市防災会議を閉会とさせていただきます。